

南小便り

加東市立滝野南小学校
学 校 通 信

学校には、二つの側面があつて、一つは日々子どもたちへの指導。もう一つは、教育の内容や方法についての**研究**です。本年度は、「考える楽しさを味わい、学びと仲間と自分を活かす



6月は、**読書月間**。担当教師が本の読み聞かせをしながら、みんなたくさん読もうねと呼びかけました。図書委員会の二人は、「ズッコケ三人組」を、上手に紹介してくれました。読んでみたくなりましたよ。40年近く続いたズッコケシリーズも「ズッコケ中年三人組」シリーズを経て、昨年12月刊行された「ズッコケ熟年三人組」で完結したところです。この機会に、お父さんお母さんも昔を懐かしんで一緒に読んでみてはどうですか。それにしても「ズッコケ」というネーミングに時代を感じてしまいます。目標は、1・2年生20冊、3年生以上1000ページです。



授業づくり」というテーマで、子どもたちのよりよい学びとその姿を探っています。先日は、1年生の研究授業を開きました。授業者は、事前に綿密な指導計画を作り、参観する

教師に配っておきます。そこには、授業者が研究テーマに迫るためにどんな方法を考えているのかが詳しく書かれてあります。参観者は、その指導計画を読んでおき、授業のねらいの達成度や子どもたちの学ぶ姿について観察します。

学習は、楽しくなければ定着しません。特に、小学生はそうです。楽しい学習のためには、学びへの不安が少ないこと、自分が主体となる時間があること、わかる・できるようになるために課題を乗り越えていく道筋があること、そして、一人一人の学びを出し合いながらみんなでより良い学びを作っていく場面があることも学校の学習には必要です。それらの楽しさを味わわせるために、見通しと振り返りを大切にし



1年生の算数授業研究会。形のなかま分けをグループでやっています。

た次の学びへの意欲の持たせ方、今までの学びを活用する場面のしくみ方、ペア・グループ学習での互いの考えの活かし方を研究しているところです。

放課後に、全員で今日の研究授業における成果と課題について協議し、これからの実践に活かせること、課題として取り組むことなどを共有します。わたしたち教師自身も、「考える楽しさを味わい、学びと仲間と自分を活かす」ことが必要だと思えます。それが、きっと子どもの学習に結びつきます。



1年生が詩の朗読や合唱を発表しました。元気一杯です。



今月の朝の歌は「にじ」。みんなの笑顔が広がるいい歌です。全校合唱で、5年生が去年覚えた手話をしながら歌い始めました。「にじが にじが 空にかかって・・・きっと明日は いい天気 きっと明日は いい天気」。



児童会で熊本へのお見舞金を集めています。みんなの優しい心が、どんどん集まってきています。